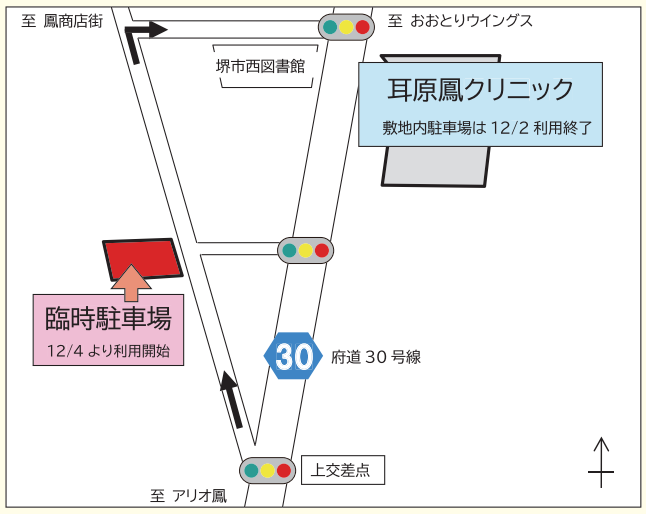
お知らせ

～新クリニック建設工事が始まります～

臨時駐車場をご利用ください

2023年12月より現在の駐車場にて新クリニック建設工事を開始します。
つきましては、**2023年12月4日(月)**より、臨時駐車場を設ける次第です。

現駐車場の利用終了　2023年12月2日(土)14時まで
臨時駐車場の利用開始　12月4日(月)より



問い合わせ先　耳原鳳クリニック　大阪府堺市西区鳳南町5-595
電話　072-275-0801

新たな歴史に向かって　鳳エリア建替え運動の道 ⑧

地域の方や職員の思いをのせて作られた「介護老人保健施設　みみはら」

1998年12月、前倒産の危機の中、高齢者のリハビリテーションと療養を目的とした施設として誕生しました。当時、鳳クリニックは鳳病院として運営されていたこともあり、老健みみはら4階の厨房では入院患者さんと入所者さんの食事を3食作っていたとのことです。

開設前の集合写真

そして開設から2年後の2000年に、介護保険制度が開始されました。その後はたびたび制度が改悪され、さまざまな困難がありましたが、職員や地域の皆さんに支えられ、今年で開設25年目を迎えることができました。

私の知る限り1998年に入職し、現在も同仁会グループで就労している介護職は10人ほどです。開設前の集合写真が出てきましたので掲載させていただきます。先駆者の思いである無差別平等の地域包括ケアの実践を継承しながら、地域の皆さんに「老健みみはらがあって良かった」と思っていただける事業所を目指し、次の25年も思いを継承しながら、時代や利用者の思いに沿った介護施設として、職員一同奮闘していく所存です。また、新しくなる鳳クリニックとも同敷地内施設として建設やその他のことに関して、惜しまずご協力できればと考えております。

（介護老人保健施設
みみはら
事務長　津留　政美）

耳原歯科診療所

誰もが安心できる無差別・平等の医療と福祉を

2年前、同仁会ステイトメントの学習がすすめられるなか、耳原歯科診療所では性の多様性を認め合う事業所であることの意思表示として、当時はあまり目にすることが少なかった『レインボーフラッグ』を、診療所玄関とトイレ入口に掲示しようということになりました。また、全日本民医連の「LGBTQ学習動画」を視聴し、吉田絵理子先生（注）の著書『すべての民医連職員のためのLGBTQ基礎知識』を朝礼で読み合わせしました。ただ単に文字を目で追うだけではなく、声に出して読んでみることで職員の理解も深まりました。

学習後に自分たちにできることはなにか、意見交換しました。まず、問診票の性別欄をなくそうということになりましたが、タブレット問診を導入しているため、保険請求との関係で性別欄を消すことはできませんでした。次に、多くの方に知ってもらおうということになり、患者さん向け動画を作成しメディネットで放映しました。GID（性同一性障害）の患者さんがおられます。患者さんが少しでもかかりやすく、居心地が良い歯科診療所でありたいと、みんなで日々考えています。最近は、身体障がい者用トイレを『だれでもトイレ』のプレートに変更しました。

今後も職員からの発信や意見に耳を傾け事業所内でできることを考え、誰もが安心できる無差別・平等の医療と福祉をめざします。

注）吉田絵里子先生
一般社団法人　にじいろドクターズ　理事
川崎協同病院　総合診療科　科長

4つのステートメント（案）

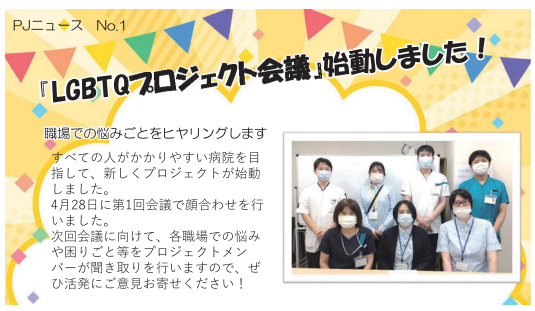
＊同仁会はジェンダー平等の社会を推進します
＊（仮称）性の多様性を認め合える組織へ
＊互いを尊重しあい、ハラスメントが発生しない職場づくりをめざそう
＊平和、地球環境、人権を守る運動を現場・地域から広めよう

耳原総合病院

LGBTQの取り組みについて

当院では2023年4月より、多様性（ダイバーシティ）を尊重し、人種や性別、年齢、障がいの有無などに関わらず、すべての患者さんがかかりやすい病院を目指すことを目標に掲げ、LGBTQプロジェクトを発足することにしました。プロジェクトの構成員は、看護師や薬剤師、作業療法士、検査技師、事務と多職種から成っています。

LGBTQプロジェクト活動の一歩として、すべての人がトイレを使いやすくするために、1階・2階の外来フロアの多目的トイレのドアに「だれでもトイレ」ポスターの掲示を進めました。



LGBTQの学習会や講演を受け、LGBTQに関する正確な知識を学んだ職員に対し、少しずつではありますがアライバッチ（性的少数者への支援者や理解者であることを示すレインボーバッチ）の配布をなども始めています。

また、職員にLGBTQの取り組みや知識などをタイムリーに伝えるため、LGBTQプロジェクトニュースを作成し、毎月サイネージに掲示しています。

今後、法人の制度教育とコラボしながら、職員のLGBTQに対する理解をさらに深め、誰でもが安心し受診できる病院環境づくりを行っていきます。